

## 新型コロナウイルス 学級休業等の基準の明確化

2学期がスタートした8月27日、全教豊中は市教委に対して、人員配置や休業基準を明らかにすることなどを求めた6点

(31日に1項目追加)の緊急の申し入れを行いました。

2学期がスタートし、全教豊中には次のような

### 【学級休業等の考え方・休業日数の目安】

保健所と協議して、学級休業等を実施。児童生徒、教職員に対して集団PCR検査を実施する場合は、検査に要する日数について学級休業等を実施。

#### ①学級休業

同一学級内に複数の陽性者が確認された場合は、5日～7日程度を目安に学級休業を実施

ただし

・同一学級内の陽性者が1名であったとして、濃厚接触者が多数特定された場合には、5日～7日程度を目安に学級休業を実施。

・同一学級内に複数の陽性者が出た場合であっても、すべて同一の感染経路であると特定されるなど、感染拡大の恐れがないと判断した場合には、学級休業は実施しない。

#### ②学年休業

複数の学級休業を実施するなど、学年内感染が広がっている可能性が高いと判断した場合は学年休業

③学校休業 ④学校一斉休業 (省略) 詳細はQRより

豊中市教委は9月9日に休業についての基準を示しました。(「学校で児童生徒や教職員の新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応基準」)

文科省が8月27日に示したテレビ・新聞報道されるガイドラインとは、異なる部分もあります。

ホームページ上で見ることが出来ますが、保護者や私たちの考え方も周知

### 保護者に「基準」の周知を!

声が寄せられています。○クラス内に複数の陽性者が出ているのになぜ学級閉鎖にはならない。○「陽性者が出ているみたいなのに学級閉鎖にはならないのか」保護者から問い合わせがあった。

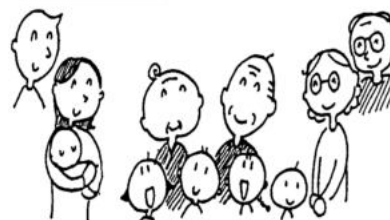
### 「新型コロナウイルス感染の拡大から子どもと教職員の命を守る緊急申し入れ」(8/31申し入れ)

- 学生ボランティアを含む学校関係者、子どもたちに定期的なPCR検査を行い、感染が広がらないようにすること。
- 教職員のワクチン接種が早急にすすむようにすること。
- 3密を避けるためにも、市が当初計画していた小学校全学年の35人学級を来年度に実施すること。
- コロナ感染対応に必要な人員、心のケア・学力保障するための人員を確保し配置すること。
- 市の感染状況や学校関係の感染状況などの必要な情報を知らせること
- 学級閉鎖、学年閉鎖、学校閉鎖の基準を明らかにすること。
- 9月2日実施の中学校チャレンジテストを中止するよう大阪府に具申すること。

する必要がある。人員増は待ったなし! 教育委員会は人の配置に責任をもって!

ワクチンの副反応や子育て中の教職員が保育園などの休園により休まざるを得ないなど学校現場では、これまで以上に人が足りない緊急事態が現に今起こっています。

いったん収まっていくように見える第五波ですが、冬に向けて第六波も



言われています。学校現場の人員についての応援もまったなしです。教育委員会はこうした条件整備を緊急にすすめるべきです。

教え子を再び戦場に送るな!